

白鷗大学法科大学院



第10号（最終号） 2017年3月

紀要

閉刊・閉院の辞

鈴木 孝之

論 説

複雑な訴訟におけるスペシャル・マスター

樺 博行

本人訴訟と法律扶助

～ Turner v. Rogers 事件の波紋

山城 崇夫

都市と憲法・序説——

コミュニティ条項をめぐる

岡田 順太

独占禁止法における「公共の利益」論

鈴木 孝之

「訴訟実務の基礎（民事）」を担当して

～「要件事実教育」の一コマ

河野 泰義

新・書生論のすすめ

渋谷 満

刑訴法321条1項2号後段における

「実質的に異った」の意義

—「実質的に」という文言の多義性・曖昧さに留意して—

角田 雄彦

金融破綻処理における

“Too Big to Fail”の終焉

比護 正史

立法不作為に対する司法審査・その3

大石 和彦

判例研究

EU アンチ・ダンピング法の覚書

～後に続く人達のために～

池田 節雄

翻 訳

寛大な処遇と引換えにする司法取引

マイケル・E・タイガー

デューク大学スクール・オブ・ロー及びアメリカン大学

ワシントン・カレッジ・オブ・ロー名誉教授

2016年2月8日、日本弁護士連合会における講演

訳：村岡 啓一

付録・資料